



日本共産党千代田地区委員会 くらし・雇用相談室長
日本共産党千代田区議団 事務局長

こんにちは 牛尾こうじろうです

耕二郎 2011年9月18日 第37号

ホームページ：「日本共産党牛尾こうじろう」で検索 住所：千代田区岩本町1-12-12-301 : 090-2406-7991
Eメール：k-ushio@beetle.ocn.ne.jp 事務所：千代田区神田東松下町33 : 3251-2952



学習会の様子(9月7日千代田保健所)

区主催の学習会に参加。「給食の放射線量の調査を」など父母の不安のこえが相次ぎました

福島原発事故から半年、いまだに放射線汚染への不安が広がっています。そうしたなかで開かれた区主催の学習会「放射線を正しく理解するために」に参加しました。

私が参加した、9月7日の学習会では日本大学専任講師の野口邦和さんが報告、野口さんは「今度の事故で漏れたセシウムは半減期が30年もあると言われている。しかし、今回漏れたセシウムには半減期が2年と30年の二種類があり、事故では

放射線量は3年で半分に減る。この3年間、いかに外部被ばく、内部被ばくを少なくするかが大事。食品の産地の放射線量や野菜は水で洗うなど余計な被ばくを避けるための努力が必要」と訴えました。

参加者からは、「給食の放射線量調査をやってほしい」「給食でも牛乳でもしつかり検査して『安全』という科学的な数値を示してもらわないと親たちの心配はなくなるならない。しつかりした測定を求めたい」などの意見がだされました。

野口さんは「毎回というわけにはいかないだろうが、給食など何回か測定するのも必要では」と回答しました。私も子育て世代として、区民の不安を無くすために区ができることをしつかりやってほしいと思います。



半減期が2年のセシウムが大量に流出している。トータルでは流出したセシウムの全体の放射

小学校の砂場で基準値を超える放射線を検出

お茶の水、千代田両小学校の砂場で国際放射線防護委員会が勧告している基準値、0.25μSv(マイクロシーベルト)を上回る放射線が検出されました。区は一時的に使用を中止して砂の入れ替えをおこなうとしています。検出された放射線量は



お茶の水小学校

はお茶の水小で0.36μSv、千代田小で0.25μSvでした。

9・19「さようなら原発」5万人集会の明治公園

9月19日(月・祝)

13:30 集会

14:15 パレード

作家の大江健三郎さん、落合恵子さん、俳優の山本太郎さんが挨拶する予定です。

えっ！保険料がこんなに上がるの？ 後期高齢者医療制度の次期保険料の試算

東京都後期高齢者医療広域連合が8月22、23日に2012、13年度の後期高齢者医療保険料を見直すための試算をおこないました。

それによると、次期の平均保険料は保険料抑制のために行っている自治体の一般財源を投入した場合でも、今年度

84527円から98792円へと14265円（約17%）の負担増になります。

さらに一般財源を投入しないならば21600円（約26%）もの負担増になります。

後期高齢者医療制度は高齢者の増加や医療給付が増えることに伴い保険料が際限なく

「子ども・子育て新システム」でなく国が責任を持って保育の拡充を

党東京都委員会が主催の「新システムと保育の公的責任についての学習会」に参加しました。

「新保育システム」は待機児解消を口実にして保育の公的制度を解体し、保育を市場化・営利化させるものです。

政府は今年の通常国会へ法案を出す予定でしたが、父母の運動や世論、また震災の影響

で提出に到ってません。しかし、次期通常国会への法案提出を狙っています。学習会では「『新システム』を撤回させ、公的保育を充実させる運動はこれからが大事」と強調されました。公的責任を無くし、保育に収入の格差をつける「新システム」には反対です。運動を広げるために私力も尽くします。

上がる仕組みです。

「現代の姥捨て山」として国民の怒りが広がり、民主党政権は「見直し」を公約しました。しかし、民主党は廃止を先送りしたうえに、政府・厚労省の「新制度」はこれまで通り高齢者差別の根幹を残すものになっています。

後期高齢者医療制度を速やかに無くすとともに、負担増を避けるため国や都が思い切った支援をすることが求められます。



被災地をバザーで応援

八月二七日に旧今川中でおこなわれた神田縁日チャリティバザーに参加しました。



バザーでは福島産の物産店も出店しました。私も福島産の枝豆を買いました。

「原発ゼロへ！」 後援会のみなさんと懇談会を開きました

一〇日に党神田支部、後援会のみなさんと「原発ゼロへ」と題して懇談会を開きました。

「もっと省エネ社会を言うべき」「自然エネルギーの可能性はどのなの？」「など様々な意見が出されました。「もっと原発の危険性などを伝えるためにもこんな場をもっとやってほしい」という感想も出されました。



懇談では活発な意見が交わされました